

第8回 観音寺市民会館等建設検討委員会会議録【要約】		日 時	平成24年9月6日(木) 19:00~20:40
		場 所	観音寺市民会館第4会議室
出席者	委員10名(欠席5名)、事務局6名、(株)日建設計大阪オフィス5名		
議題	1 観音寺新市民会館の設計等について		
	2 今後の予定について		
	3 その他		
<p>1 開会 開会あいさつ</p> <p>2 委員長あいさつ 委員長あいさつ</p> <p>3 議題 (1) 観音寺新市民会館の設計等について</p> <p>①経過説明 資料1により、新市民会館の設計事業者(株)日建設計大阪オフィスと契約した経緯を説明した。</p> <p>②設計事業者紹介 契約事業者：(株)日建設計大阪オフィス 管理技術者：江副管理技術者 意匠主任：児玉意匠主任</p> <p>③提案書説明 江副管理技術者より、提案書の説明を受けた。</p> <p>ア)【委員質問】 リハーサル室は、純粋なりハーサル室なのか？ 特化したリハーサル室の整備は利用率などを考慮すると難しいと感じていた。以前も同じような意見を発言したが、当時は、現体育館の利用用途の変更については議題にあがっていなかった。 現体育館利用用途の変更について委員が一度意見をしたが、現段階では検討中であると当局は回答している。 今回、現体育館を新市民会館施設構成の一部として利用することになると、リハーサル室など付属施設の在り方についても考え方が変わってくる。</p> <p>【設計者回答】 現体育館を整備することで、多目的に利用できる新市民会館の第3のホールとなると考えているが、今後の議論によって決めていくようになる。</p> <p>イ)【委員質問】 現体育館へのアプローチだが、大・小ホールと同じ2階を通るのか？</p> <p>【設計者回答】 大・小ホールへは2階、現体育館へは1階を通るように考えている。</p> <p>ウ)【委員質問】 2階へ行くには階段の提案だが、エスカレータにならないか？</p> <p>【設計者回答】 奥にエレベータがあり、車いす利用者などはその利用を考えている。また、エスカレータについてはイニシャルコスト、ランニングコストが多額に発生し、2階建てで高低差が3m程度の施設については、緩やかな勾配の階段で設計をしたいと考えている。</p> <p>エ)【委員質問】 自然エネルギーを取り入れることは、良いことだと思う。地熱利用など現在の提案を続けて頂きたい。小会議室だが楽屋との併設と提案を受けたがもう少し詳しく説明願いたい。</p> <p>【設計者回答】 ホールの利用が無い時の楽屋などは、非常にもったいない施設になると考えている。楽屋などを会議室と併用利用することにより、コンパクトで無駄の少ない新市民会館になることが我々の提案である。専用の会議室についても整備する予定である。</p> <p>オ)【委員質問A】 大ホール1,200席の提案は委員会の意見でもあり適度なサイズだと思うが、小ホール300席の提案はどうか？ 委員会としては、400席程度必要と感じている。</p>			

【設計者回答】

小ホール400席は、比較的規模の大きい施設になる。逆に観音寺市では使いづらい施設になると考えられ、300席程度が適していると思う。

【委員意見B】

200数十人の鑑賞者を想定しているので、300席が妥当だと思う。少し規模の大きい事業は大ホールの2階席を封鎖し、1階だけを借りればよい。

【委員意見A】

大ホールを利用する場合、小ホールに比べ利用料金が高くなり、市民が使いづらい施設になるのではないか？

【委員意見B】

香川県民ホールのように、1階席のみ利用時と1・2階席利用時で料金設定を変更することは可能だと思う。

【事務局意見】

2階席の大ホールを建設した場合、料金設定を変更することは可能である。

カ) 【委員質問】

300席でシューボックス型ホールとなると縦長いホールになり、狭いイメージにならないか？

【設計者回答】

シューボックス型ホールは300席規模が主流である。

先ほどより席数の議論が出ているが、まずは小ホールの位置付けとして、我々が提案している小ホールを音楽ホール、平土間利用は現体育館を利用することについて、まず確定してから小ホールの席数を議論していくのが良いと思う。

キ) 【委員質問】

提案の小ホールだが、楽屋が2部屋となっており不足時は会議室を利用するようになると思うが、鑑賞者と動線が重なるのではないか？

【委員意見】

現市民会館については楽屋が無く、2部屋の楽屋があれば足りると感じている。

ク) 【委員質問】

楽屋から大ホール舞台袖までの距離だが、提案では現市民会館とは逆の位置にあり遠く感じる、また、演者と鑑賞者の動線が重ならないか？

【設計者回答】

提案しているようなホールは全国にも多々あり問題は無いと思う。また、演者は客席の下を通るようになるため動線が重なることは無い。

ケ) 【委員質問】

現体育館に空調設備を整備するのか？

【設計者回答】

現提案では考えてはいないが、今後の検討課題である。

【委員意見】

多少の経費が必要になっても空調設備を整備することが最低条件だと思う。

【事務局意見】

委員より様々な意見が出ているが、今回、設計者より提案を受ける前に、市からの条件として、大ホール1,200席、小ホール300席、現体育館について新市民会館施設機能の一部として利用する場合どういった利用方法があるかを条件にして提案を受けた。

そこで最高評価点となったのがこの提案書である。

現体育館を新市民会館施設機能の一部とする場合、集客施設となるため消火設備などの費用も必要になる。その辺りについても、これから設計者と十分協議していく中で決めていきたい。

コ) 【委員質問】

中ホールで利用している物産展は現体育館とするのか？

【事務局回答】

そう提案を受けており、広さについても中ホールと現体育館は同程度である。

サ) 【委員質問】

現体育館の改修費についてどう考えているのか？

【事務局回答】

現体育館改修の設計や整備費は市民会館の本体工事とは別になっている。9月定例会中でもあり全員協議会にて現体育館の改修について説明を行い、検討委員の意見も伝えていきたい。

<<まとめ>>

【事務局意見】

このイメージ図だが、あくまでも設計者を選定するためのイメージ図である。今から基本計画の作業に入り、委員会に諮問を行う予定である。このイメージ図はあくまでたたき台として考えてもらいたい。

(2) 今後の予定について

資料2により、今後の予定について説明した。

(3) その他

ア) 【委員意見】

議会の文教民生委員会が可児市に視察へ行ったみたいだが報告などは無いのか。文教民生委員会の考えについても聞いてみたいのだが。

【事務局回答】

可児市文化創造センターだが、施設の延べ床面積約18,000㎡、事業費約9.5億円である。文教民生委員会の中でも新市民会館でいい所を取り入れてみては？という意見もある。新市民会館は、基本構想により床面積7,000㎡、工事費40数億円での取り決めがあるので、その根本から変える予定は無い。

イ) 現時点での管理運営計画について報告

【事務局報告】

本年度中に市民会館の利用者を中心に新市民会館のソフト面について意見交換会を開催する計画である。市職員及び演者となる利用者などで構成する新市民会館管理運営計画策定委員会（仮称）を新たに設置し、管理運営手法について具体的な検討を行う。管理運営計画策定委員会（仮称）のメンバーについては、この建設検討委員会の委員の中から数名推薦頂くことになる予定である。

【委員質問】

意見交換会に現市民会館利用者に案内は行くのか？

【事務局回答】

現市民会館の定期利用者に案内状を送付する予定である。

【委員意見】

管理運営計画については定期的に報告するようにお願いする。

4 閉会

副委員長あいさつ